

富山市猿倉山の鳥類相

高橋輝男

富山市ファミリーパーク

〒930-0151 富山県富山市古沢254

Bird Survey in Mt. Sarukura, Toyama City, Toyama Prefecture, Japan

Teruo Takahashi

Toyama Municipal Family Park Zoo, 254 Furusawa, Toyama-shi, Toyama -930-0151, Japan

要約：2016年2月から2018年9月までの間に、富山県富山市の猿倉山山麓において月3回ずつの鳥類調査(ラインセンサス)を実施し、36科89種の鳥類を確認した。当調査地の鳥類相の特徴として、谷津や森林、伐開地など様々な環境に暮らす鳥類種が組み合わさって全体の鳥類相が形成されている中で、年間を通してホオジロ・ヒヨドリ・ハシボソガラス・カワラヒワ・シジュウカラの優占度が高いことが示された。

はじめに

里山里地における鳥類相は、今後、温暖化や耕作放棄地の増加により大きく変化することが危惧されている。しかし、県内の里山においてどのような環境が減るとどういった鳥類種に影響が出るのかは、あらかじめそれぞれの環境に生息する鳥類種やその構成を把握しておく必要がある。

この度、富山市猿倉山の鳥類相を年間を通して定量的に調査し、伐開地・林道内・耕作地と二次林(谷津部)という環境区分ごとに分析したので、その結果得られた知見を報告する。

調査地と調査方法

調査は2016年2月から2018年9月までの間、富山県富山市の猿倉山山麓にてラインセンサス調査を行った。(図1)

ラインセンサス調査では猿倉山登山道と御前山林道を通る標高170m~360m、5.694kmのコースを時速約2kmで歩行しながら観察半径50mの範囲に出現した鳥類種と個体数を記録した。

ラインセンサス調査はおおむね日の出時刻後4時間までの間に、各月に3回ずつ、計36回実施した。

得られた記録は、コースを猿倉山公園駐車場(図1A)から猿倉山山頂(図1B)までの旧猿

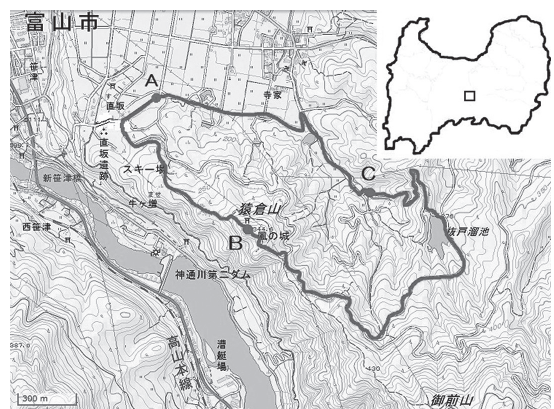


図1 ラインセンサスルート

(国土地理院地図の地理院地図(電子国土web)より作図)

倉山スキー場跡地を含む主に伐開地を通る1.321kmの「伐開地部」、猿倉山山頂(図1B)から抜戸溜池を通り沢上部で耕作地が始まる地点(図1C)までの森林内を通る2.942mの「林道部」、沢上部で耕作地が始まる地点(図1C)までの主に耕作地と森林の間を通る1.431mの「谷津部」の3つに分けて集計した。

ラインセンサスルート観察半径内の環境要素を現地目で目視確認し、地図を方眼紙に複写して面積比を算出した環境割合を表1に示した。

表1 調査地の環境要素の割合

	センサス距離	樹林	耕地	草地・荒地	水域	その他
伐開地部	1,321km	31%	5%	63%	0%	1%
林道部	2,942km	88%	0%	6%	6%	0%
谷津部	1,431km	32%	37%	23%	3%	5%
全体	5,694km	61%	10%	24%	4%	1%

結果及び考察

1) 出現種および出現個体数

ラインセンサスにおける月ごとの出現種および平均出現個体数について、調査地全体についての結果を表2に、伐開地についての結果を表3に、林道部についての結果を表4に、谷津部についての結果を表5に、それぞれ示した。

調査地全体では年間で36科89種の鳥類を確認した。調査区分ごとに見ると、伐開地部では57種、林道部では73種、谷津部では65種であった。林道部は他の2つの調査区分に対して2倍以上のセンサス距離があるため必然的に出現種数も多くなるが、距離が短い中でも谷津部において比較的多くの種数が確認された。

また、ある調査区分にだけ出現した種を見ると、伐開地部ではノビタキ・ハギマシコの2種、林道部（ため池を含む）ではカルガモ・コガモ・オオタカ・ヤマドリ・ジュウイチ・コマドリ・トラツグミ・マミチャジナイ・ヤブサメ・ゴジュウカラ・キバシリ・クロジ・マヒワの13種、谷津部ではカイツブリ・ゴイサギ・アオサギ・ホシハジロ・チョウゲンボウ・タシギ・フクロウ・カワガラス・ムクドリの9種であり、それぞれの環境に特異的な生息種が組み合わさって調査地全体の鳥類相を形成していることが示された。

2) 月ごとの種数

センサスルートの月ごとの出現種数の季節変化を図2に示した。

出現種数は調査地全体では月間34～50種で推移した。全体では4月と9～11月に増加が見られ、2月・8月には減少が見られた。伐開地部では年間を通して比較的緩やかな種数の増減を示した。

3) 月ごとの出現個体数

ラインセンサスにおける1km（10ha）あたりの平均出現個体数の季節変化を図3に示した。

出現個体数は月間～種で推移した。全体では3月の春渡り期と10月の秋渡り期にピークが見られたが、10月のピークは主に伐開地部でのヒヨドリ・ホオジロ・ハシボソガラスの増加によるものだった。また、8月にはすべての調査区分で出現個体数の減少が見られた。

4) 主要種および優占度

各月の確認種のうち個体数の多かった上位十種の個体数の割合について、調査地全体についての結果を表6に、伐開地についての結果を表7に、林道部についての結果を表8に、谷津部についての結果を表9に、それぞれ示した。

年間を通してホオジロ・ヒヨドリ・ハシボソガラス・カワラヒワ・シジュウカラの優占度が高く、季節によってツバメ・アトリ・マヒワなどが優占種の上位に入った。

調査区分ごとに見ると、伐開地部では全期間でカワラヒワが、林道部では冬期にコガラが、谷津部ではハシボソガラスが優占度の上位種に入るのが特徴的であった。

調査地全体の鳥類相は由井（1976）による繁殖期鳥類群集の類型では、クヌギコナラ林型（ヒヨドリーホオジローシジュウカラ群集）に、由井（1977）による冬期鳥類群集の類型では暖帯針広混交疎開林型（ヒヨドリーカワラヒワーホオジロ群落）に最もよく一致し、次いで暖帯内陸常緑樹林型（ヒヨドリーシジュウカラーエナガ群落）に合致した。

まとめとして、当調査地の鳥類相は本州中部の典型的な暖帯二次林の鳥類相を基礎として、森林やため池、開けた草地、耕作地などそれぞれの環境に特異的に暮らす鳥類種が組み合わさって全体の鳥類相を形成していることが示された。

引用文献

- 日本鳥学会(編). 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会, 東京.
- 高橋輝男. 2016. 大岩川の鳥類. 富山の生物. 55 : 91-100.
- 高橋輝男. 2017. 白岩川ダム周辺の鳥類. 富山の生物. 56 : 108-115.
- 高橋輝男. 2018. 上市川ダム周辺の鳥類. 富山の生物. 57 : 107-114.
- 富山県. 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックとやま2012. 31-75. 富山県.
- 由井正敏. 1976. 森林性鳥類の群集構造解析 I. 山階鳥研報. 47 : 223-248.
- 由井正敏. 1977. 森林性鳥類の群種構造解析 II. 山階鳥研報. 49 : 29-45.

猿倉山の鳥類目録

本調査で確認した鳥類89種を、分類群別に学名、和名の順に記載し、指定等を付記した。ラインセンス以外で記録された種および特記事項のある種については、観察者名と観察年月日、個体数、観察場所を付記した。

なお、学名は日本鳥類目第7版(日本鳥学会, 2012)に、環境省のカテゴリーは環境省レッドリスト2019に、富山県のカテゴリーはレッドデータブックとやま2012に拠った。

PHASIANIDAE キジ科

1. *Syrnaticus soemmerringii* ヤマドリ
2. *Phasianus colchicus* キジ

ANATIDAE カモ科

3. *Anas zonorhyncha* カルガモ
4. *Anas crecca* コガモ
5. *Aythya ferina* ホシハジロ

PODICIPEDIDAE カイツブリ科

6. *Tachybaptus ruficollis* カイツブリ

COLUMBIDAE ハト科

7. *Streptopelia orientalis* キジバト
8. *Treron sieboldii* アオバト

ARDEIDAE サギ科

9. *Nycticorax nycticorax* ゴイサギ
10. *Ardea cinerea* アオサギ
11. *Ardea alba* ダイサギ

CUCULIDAE カッコウ科

12. *Hierococcyx hyperythrus* ジュウイチ
13. *Cuculus poliocephalus* ホトトギス
14. *Cuculus optatus* ツツドリ
15. *Cuculus canorus* カッコウ

APODIDAE アマツバメ科

16. *Apus pacificus* アマツバメ

SCOLOPACIDAE シギ科

17. *Gallinago gallinago* タシギ

PANDIONIDAE ミサゴ科

18. *Pandion haliaetus* ミサゴ
環境省：準絶滅危惧 (NT)
富山県：準絶滅危惧

ACCIPITRIDAE タカ科

19. *Pernis ptilorhynchus* ハチクマ
環境省：準絶滅危惧 (NT)
富山県：絶滅危惧2類
20. *Milvus migrans* トビ
21. *Accipiter gentilis* オオタカ
環境省：準絶滅危惧 (NT)
富山県：絶滅危惧II類
22. *Butastur indicus* サシバ
環境省：絶滅危惧II類 (VU)
富山県：絶滅危惧1類
23. *Buteo buteo* ノスリ

TYTONIDAE メンフクロウ科

24. *Strix uralensis* フクロウ

ALCEDINIDAE カワセミ科

25. *Halcyon coromanda* アカショウビン
富山県：準絶滅危惧

26. *Alcedo atthis* カワセミ
富山県：準絶滅危惧

PICIDAE キツツキ科

27. *Dendrocopos kizuki* コゲラ

28. *Dendrocopos major* アカゲラ

29. *Picus awokera* アオゲラ

FALCONIDAE ハヤブサ科

30. *Falco tinnunculus* チョウゲンボウ

31. *Falco peregrines* ハヤブサ

CAMPEPHAGIDAE サンショウクイ科

32. *Pericrocotus divaricatus* サンショウクイ
環境省：絶滅危惧 II 類 (VU)
富山県：準絶滅危惧

MONARCHIDAE カササギヒタキ科

33. *Terpsiphone atrocaudata* サンコウチョウ
富山県：準絶滅危惧

LANIIDAE モズ科

34. *Lanius bucephalus* モズ

CORVIDAE カラス科

35. *Garrulus glandarius* カケス

36. *Corvus corone* ハシボソガラス

37. *Corvus macrorhynchos* ハシブトガラス

REGULIDAE キクイタダキ科

38. *Regulus regulus* キクイタダキ

PARIDAE シジュウカラ科

39. *Poecile montanus* コガラ

40. *Poecile varius* ヤマガラ

41. *Periparus ater* ヒガラ

42. *Parus minor* シジュウカラ

ALAUDIDAE ヒバリ科

43. *Alauda arvensis* ヒバリ

HIRUNDINIDAE ツバメ科

44. *Hirundo rustica* ツバメ

45. *Delichon dasypus* イワツバメ

PYCNONOTIDAE ヒヨドリ科

46. *Hypsipetes amaurotis* ヒヨドリ

CETTIIDAE ウグイス科

47. *Cettia diphone* ウグイス

48. *Urosphena squameiceps* ヤブサメ

AEGITHALIDAE エナガ科

49. *Aegithalos caudatus* エナガ

PHYLLOSCOPIDAE ムシクイ科

50. *Phylloscopus examinandus* オオムシクイ

51. *Phylloscopus coronatus* センダイムシクイ

ZOSTEROPIDAE メジロ科

52. *Zosterops japonicas* メジロ

SITTIDAE ゴジュウカラ科

53. *Sitta europaea* ゴジュウカラ

CERTHIIDAE キバシリ科

54. *Certhia familiaris* キバシリ

TROGLODYTIDAE ミソサザイ科

55. *Troglodytes troglodytes* ミソサザイ

STURNIDAE ムクドリ科

56. *Spodiopsar cineraceus* ムクドリ

CINCLIDAE カワガラス科

57. *Cinclus pallasi* カワガラス

MUSCICAPIDAE ヒタキ科

58. *Zoothera dauma* トラツグミ
 59. *Turdus cardis* クロツグミ
 60. *Turdus obscurus* マミチャジナイ
 61. *Turdus pallidus* シロハラ
 62. *Turdus chrysolaus* アカハラ
 63. *Turdus naumanni* ツグミ
 64. *Luscinia akahige* コマドリ
 65. *Luscinia cyane* コルリ
 66. *Tarsiger cyanurus* ルリビタキ
 67. *Phoenicurus aureus* ジョウビタキ
 68. *Saxicola torquatus* ノビタキ
 69. *Muscicapa sibirica* サメビタキ
 70. *Muscicapa dauurica* コサメビタキ
 富山県：準絶滅危惧
 71. *Ficedula narcissina* キビタキ
 72. *Cyanoptila cyanomelana* オオルリ

PASSERIDAE スズメ科

73. *Passer montanu* スズメ

MOTACILLIDAE セキレイ科

74. *Motacilla cinerea* キセキレイ
 75. *Motacilla alba* ハクセキレイ
 76. *Motacilla grandis* セグロセキレイ
 77. *Anthus hodgsoni* ビンズイ

FRINGILLIDAE アトリ科

78. *Fringilla montifringilla* アトリ
 79. *Chloris sinica* カワラヒワ
 80. *Carduelis spinus* マヒワ
 81. *Leucosticte arctoa* ハギマシコ
 82. *Uragus sibiricus* ベニマシコ
 83. *Pyrrhula pyrrhula* ウソ
 84. *Coccothraustes coccothraustes* シメ
 85. *Eophona personata* イカル

EMBERIZIDAE ホオジロ科

86. *Emberiza cioides* ホオジロ
 87. *Emberiza rustica* カシラダカ
 88. *Emberiza spodocephala* アオジ
 89. *Emberiza variabilis* クロジ